



和牛飼育は婦人の手で

5月13日に和牛飼育技術の向上をはかるための婦人部研修会が、坪谷川流域の飼育者を対象に坪谷支所会議室で開催されました。

13日には講師として、北川町畜産センター所長の小野林先生より「婦人部活動と飼育技術改善」について講演を受けたあと活発に意見交換がされ参加者全員で人づくり・草づくり・牛づくりを婦人部の活動スローガンとして推進することで閉会しました。



昭和57年 6月号 第370号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

泣きながら桑の實を摘み食うべつつ

母を呼ぶ子を夕畑に見つ

牧水

豊かで潤いのある町創りを目指して

町長所信表明

57年度予算より

昭和五十七年度予算がスタートしました。この予算は、三月の定例町議会で審議され、原案どおり可決されたものです。予算の提案理由の説明に先だち行われました町長の所信表明について掲載いたします。

昭和五十七年という年は行革に明け行革に終るといふまきに行革元年の年だといわれております。私達を取りまく環境を思うときまことに身の引き締まるものを感じるのであります。

石油危機に象徴される七〇年代の数多くの問題は、殆んど解決されることなく、八〇年代に引き継がれており、いまやわれわれは高度成長から安定成長へ、そして行政改革への移行という厳しい流れの中に立たされているのであります。国は長年にわたって財政収支の

不均衡をつづけ、私共地方も又、近年は大幅な財源不足の状態に陥り、それを補うための借入金財政に頼らなければならないという状況であります。

一方においては高令化社会の到来、米の消費減少に伴う水田利用再編対策、国民健康保険財政問題、更には多様化し、複雑の度を加えつつある各般の行政需要等、何れも早急に根本的な対応を求められているものばかりであります。現在、いわゆるゼロシーリングの昭和五十七年度予算は、国会において審議されているところであ

りませんが、その取り扱いはにおいて当面の財政収支の均衡のみに捉われることなく、国から地方への負担転嫁や社会的弱者へのしわ寄せがあつてはならないと存するものであります。

このたびの行政改革は、国・地方の機能分担の適正化と地方財政基盤の強化を損うものであつてはならず、地方自治の確立を基調とした真の行政改革として推進されるものであることを願望しながら見守つていこうと存じます。

本町のみならず、全国二千六百有余の町村は、今こそ行政改革を機に、新しい地域社会の実現を図るため、町村財政の確立、つまり町村税源の確保、地方交付税の充実強化、国庫補助金制度の改善と財政秩序の確立、或は、地方債の充実改善等々の国の施策の見直しを求めている処であります。

そしてこのことは本町の如き過疎地域山村の充実強化そのものが国土の均衡ある発展に即ち直結しておるものと信じているからであります。

今日、国家的課題として大きく議論されている国民健康保険制度についても、住民の健康保持と管理は行政の責任としてその役割を分担している処であります。これが達成のためには、体系的な保健指導等、地域医療対策を強化しながら、町立病院の機能を充実しこの制度の趣旨に鑑みこれが確保は何んとしてもこれを維持しな

ればならない処であります。

更に高令化社会への対応として老人クラブ活動助成、ねたきり老人、ひとり暮らし老人に対する福祉の強化、老人ホームの施設整備等老人福祉対策の充実、或は児童母子、身障者等社会的弱者対策の強化等福祉対策についても、これを等閑にしてはならないのであります。

同時に本町産業の基本である農林業の振興対策と整備強化についても、わが国農業農村は、国民の必要とする食糧を安定的に供給するとともに、国土と自然を保全しさらには健全で活力ある地域社会の形成に重要な役割を果たしている処であります。

私共は、国民食糧の安全確保と健全な農林社会の確立、形成を目指しながら、従来から多額の経費を負担し、投資して参りました。

本年度においては、更に又、将来においても、地域農政の推進はこれを私共の最重要課題として、水田利用再編対策への取り組み、畜産、その他の総合的振興対策の充実をはかりながら、農地の集団的な利用の促進、農地利用の高度化等を強力に推進せんとするものであります。このためにも本町に適合する各種の制度事業を積極的に取り入れ、予算の重点的確保を図りながら、ほ場整備、農道、水路の改良新設等、農業生産基盤の整備を推進し、併せて本町の地域

の特性を活用する措置として、複

合農形成への対応と同時に、飼料の自給率向上、生産拡大措置を進め、更に野菜、果樹、養蚕についても、産地育成に於いて意を用いたところでありませう。

これを併せて、林業についても本町は、行政面積の九〇%近い約一八、〇〇〇haに近い林地を有し戦後推進された拡大造林事業は、本町においても人工林率七〇%に到達をし、漸く収穫期に入らんとしている処であります。

このような時期に、これを取りまく情勢は実に厳しい局面に立ち至つておるのであります。

私共は、国内林業の停滞を打開し、山村地域の振興を図るには、市町村主導のもとに、地域の実態に即した林業生産基盤の整備及び山林の環境整備等を総合的抜本的に進める必要があるとして、国県にこれが対応を求めながら、市町村を責任主体とする、地域林業の推進方策を確立せんとしているところであります。

次に教育については、数年の方、進めて参りました危険校舎改築は、この五十七年度、越表小学校をもつて一応終了の運びとなり、義務教育課程の施設整備は、その第一段階を終る見通しとなつた処であります。この上は、更に、より優れた環境の中で、より密度の高い教育が行われるようこの上にも施設整備については格段の配意を心がけ、教育百年の大計に怠りなきよう、更に努力を続け

ていく所存であります。

更に、社会教育、社会体育、変遷極まりのない社会に対応しながらこれが充実強化を推進するとともに、本町においても、社会問題として憂慮すべき事態にあり、緊急に対応を急がなければならぬ青少年の非行化防止と健全育成対策についてこれが強化促進を図るべく意を用いたところであります。

又、町道の整備維持管理については、最も身近な施策として、私は町長就任以来、これを重点事項の一つとして鋭意努力を重ねてきた処であります。これが成果は改良率、舗装率ともに漸く他の先進団体の水準に達したものと、自ら判断しているものであります。広大な区域の中で機能する道路網は、住民の日常生活に最も関係

し、産業振興、交通対策の上からも、社会資本としての整備の促進は、今後とも二次政策を主に、豊潤のある町創りのために、これを推進していく処であります。

近時、社会の多様化は、災害についてもその例にもれず、本町の如き過疎地域であり、加えて山村へき地にあつて、消防、防災対策は常に、これが万全について苦慮している処であります。

不幸にして発生した火災、災害への対応と併せ、急患、事故等の救急体制は、従来から強く望まれていた処であります。これが制度化により充実強化のため、本五十七年度から消防業務を開始し、広域処理として日向、門川と連繋して広域消防組織を開始し、住民の要望に応える措置も講じた処で

あります。

申し上げるまでもなく、地方公共団体は、自らの創意と工夫により、地域住民の生活に密着した行政サービスを受けつつあり、その任務としております。

生活環境の整備、社会福祉の充実など、多様化する行政需要に対応していくことがその責務でありその総てであります。以上申し上げました昭和五十七年度の行政施策は、当面する諸問題の解決に対応し、住民の負託に応えんとするものであります。

あらまし

近年の大幅な財政難のなかの策定であり、国のゼロシーリングといわれる予算のなかにあつて地方

財政計画に従い消費部門の経費を抑え、本町に適合する各種の制度事業を積極的に取り入れ、予算の重点的確保型の予算となつていま

す。一般会計は、二十二億九千万円で前年度の当初に比較して、六・二%の減少を示しました。これは民生費で一億八千万円、災害復旧費で一億四千万円が減少したため、前年度に比して全体で一億五千万円の減となりました。

国・県に依存

歳入では、地方交付税の八億八千万円(三八・四%)をはじめと

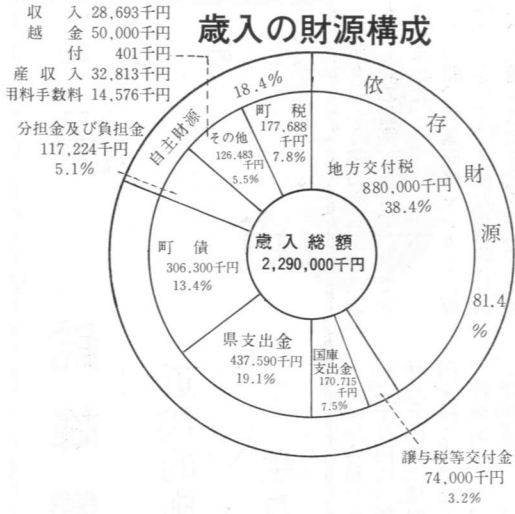
予算の八一・四%の財源を国県に依存する形になっております。

したがって自主財源は一八・四%となり、うちでも町税は七・八%の一億七千七百六十八万八千円となつております。

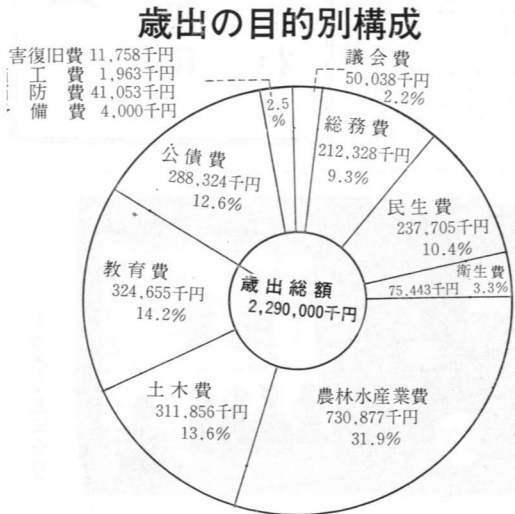
基盤整備に投資

目的別では、まず構成比の大きいのが農林水産費で三一・九%の七億三千八百七十七万円を投じて農林業の振興に力を入れております。その主なものは農村総合整備モデル事業でのほ場整備工事他、農業構造改善事業での集落センター、営農飲雑用水施設など環境整備と林業構造改善事業による林道舗装、作業道開設など基盤整備に投資されております。

歳入の財源構成



歳出の目的別構成



歳出の性質別構成



国民健康保険事業特別会計	3億1,396万3千円
簡易水道事業特別会計	1,762万8千円
国民健康保険病院事業会計	2億2,579万8千円

心地 満 点 鈴峰園

近代的施設に 生れかわる

昨年九月から進められていた老人ホームの新築工事は、三月で完成しました。

この間、林業研修センターに仮住まいをして、不便な毎日でしたが、完備された近代的施設に転居したお年寄りたちは、割当てられた自分たちの部屋を楽しんでいます。

このホームは、株式会社日高は一建築事務所設計により、吉原建設株式会社が工事を請負って三月二十日に完成したものです。

この養護老人ホームは、昭和四十一年三月に「鈴峰園」と名付けて開園されました。

開園以来十五年を経過し、この間の入所者も延百六十八人を数え今日に至っていますが、施設の老朽化と現代の住宅事情生活様式の急速な進歩から見て、当時の基準により建設された施設で設備も不十分であり、昭和五十六年九月に改築工事に着手し、今年三月末新館の落成を見たものです。

この工事に要した費用は、国県補助金が一億二、六九四万二千円

と国民年金積立金還元融資の八千二百二十万円で一般財源三、七一九万五千円の二億四、五二八万七千円を投じて建設されたものです。

敷地面積 六、一四二・六㎡
建物面積 一、二五七・五㎡
構造 鉄筋コンクリート平屋建

文化遺産の旅 ⑬

天然記念物

樹木
次の樹木を天然記念物として東郷町教育委員会は指定した。
追野内神社の杉
八重原神社のいちよう
福瀬神社の赤樫
水谷神社(寺迫)の榎

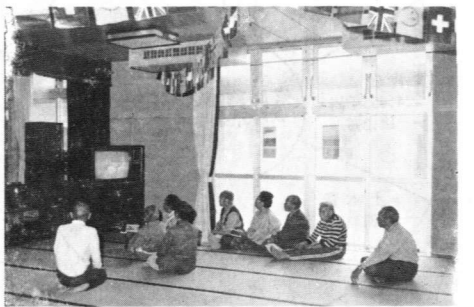
仲野原分水池の榎
深瀬神社のいちよう
直野喜一郎氏(仲野原)所有のいちよう



福瀬神社の赤樫

▽無形文化財

福瀬、鶴野内、追野内、坪谷の白太鼓おどり。
白太鼓おどりは鎌倉幕府が農村娯楽として奨励したものと伝えられる。おどりに進軍、退軍、がい旋の三つの姿があるといわれる。



くつろぐお年寄り

牧水と坪谷

(2)

塩月 儀市

住民の多くはみな山の仕事に従っている。米麦の如きは村自身の供給にも不足する位にしか出来ない。材木と木炭と椎茸とが最も主要な産物となつて居る。それらは多く大阪に送り出される。大阪街路に緒所日向辰と書いた看板を見る事を人は知っているであろう。其処では泣く子を嚇すに日向の炭焼にやっせしやうと言っている相である。その木炭の本場として最もこの附近は聞えているのである。

この村に限らず日向といら國はその天然の状態から一切周囲の文明に隔離していたのである。東南一帯は太平洋で、その沿岸は極めて硬直で更に港らしい港を持たず、西北には重畳した高山の一角が連立して全く他との交通を断つていた。自然遙かに離れた孤島の様な静寂を保たざるを得なかつたのである。それが大阪商船の航路が開く様になつてから急に騒立つて来た。四国中国辺の山師共が突然手近の北海道か台湾の様な気持でどやどや這入り込んで来た。それ等が、欺を教え、着を教えた。やがて私の村にも県道というのが開かれる。工夫が入り込む



賭博が始り、交通が行われ、喧嘩が起つた。それが恰度私の物のつく前後に起つた事である子供心にも苦々しく思われる事が後から後から起つて来た。それらを見ていた故か私の郷里に對すると言いか其処の人々に對する記憶は極めて気拙いもののみである。故郷と云えば私の心には直ちに懐しい山や川の面影が浮ぶ。がそれ以上に立ち入つて其処の事を思うのを私は好まない。これはあながち右言つた様な理由からのみでなく、多くは私の感情の我がままからでもあるかも知れない。

三牧水生家
牧水の祖父健海が弘化二年(一八四五)の頃に建築したものでその後度々修理は加えましたが現在も牧水少年時代の姿をそのまま伝えてあります。昭和四十一年九月史蹟として宮崎県の指定をうけました。(つづく)

57. 7月

点 描 (9)

保育所と母親

昔は保育所と言うものは無かつた。農繁期に村営の託児所を各区域に希望によって設けたものです。村の神社や公会堂を使って、非農家の主婦達を日雇いで保母代りに奉仕していただいたものです。これが保育所の歴史的起原と云つていいでしょう。

の保育が託児所でない保育所なるものが生れ出たのであります。政府も国の高度成長と核家族生活の時代の変遷に着目せざるを得なくなり、都道府県、市町村に保育所設置を指示したと云つていいでしょう。この保育所の設置はあくまでも勤労者の幼児を保育すると言つて一種の福祉施設で、厚生省の所轄であります。ここでよく論議されるのは文部省所轄の幼稚園との関係であります。幼稚園は大正末期、昭和初期より開設された古い歴史があります。幼稚園は

学校教育法によって、国の教育制度の中に入れて幼児教育の目的をもつた学校教育機関であります。即ち保育所とは目的を全然異つてゐるのであります。

保育所には誰でも入園できるのか
国の定めたまひがらあつて、誰でも入園はできません。幼児を保育する人と時間の無い家庭が第一の資格があると思えばよいでしょう。つまり共稼ぎの家庭の幼児が入園できるのです。然し共稼ぎでも家族構成により制限を受ける面もあります。

保育所はどんな保育をするのか
保育所は園児を一日中あずかつ

三浦治郎吉氏

勲五等双光旭日賞を受賞



さきに行われた昭和五十七年春の叙勲で元町議会議長等を歴任された三浦治郎吉氏は、その永年の業績が認められ輝く受賞をされました。

三浦治郎吉氏は、昭和十七年

五月二十一日、東郷町議会議員に当選以来、昭和五十年四月まで七期二十九年間の長期に亘り町政の発展につくされまし。

この間戦前戦後と日本の政体思想等歴史的転換期にあつて、終始住民の指導者として活躍し農林業の振興、文化、福祉の向上に多大の貢献をいたしました。又、地域にあつては、区長、PTA会長、体育協会長、経済団体の理事等の要職もつとめ広い分野に亘つて活躍しました。

幼児教育学級に 参加しよう

寺迫学級・中央学級・坪谷学級

子どものしあわせを願う 父母のための学習を

よい子はよい家庭に育つといわれるように、家庭は子どもの成長にとつて、かけがえのない最も大切な教育の場です。

幼児期の教育は、人間の生涯の始期であり、一生のうちで最も可塑性に富んでいるので、幼児に直接接する親等の配慮によって左右されるのであります。

そこで、この時期の幼児を持つ親を対象として、その親が家庭で行なう場合の心構えとか、子どもの扱い方、教育していくうえで注

てたのしく集団生活をさせながら母親に代つて教育的に心理学的に児童主体自然法則と言つた理念の下に、一定の保育指導法によって有資格者の保母さんたちが保育する所であります。大変むづかしい言葉を使いましたが、要は集団生活をさせながら、一人一人の園児の体と心と頭の働きをたのしい遊びを通して、歌を歌うことを通し、リズム運動を通して、絵を書くことを通し、給食を通して、野外運動を通して健全保育するため、保母さん達が懸命の努力をして皆様の期待に答えているところであります。

保育所にあずけておけば安心だ小学校入学までは安心だ、等と思われている若い母親は、等と思われがちです。幼児は集団生活だけで健全保育は出来ません。それぞれの個性を伸ばす力は家庭の母親の役割であります。限りなき母親の愛情とその家庭生活の雰囲気の中でこそ、真の個性を伸ばす保育は出来るのです。母や父に抱かれて育つ保育の姿こそ、伸び伸びとした幼児は成長していくのです。

東郷町社会教育委員 都 甲 鶴 男

意していく家庭教育上の共通の問題等を学習することを目的として開設されるものです。

昭和五十六年度は、寺迫幼児教育学級と中央幼児教育学級の二学級でしたが、本年度から坪谷幼児教育学級が開設されました。これは、町教育委員会が開設し就学前の幼児を持つ親(三歳児から五歳児)を対象として、月一回の二時間、学習するものです。ぜひ、参加してください。

おしらせ



人権相談開設

6月15日

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

日本が戦後新しく生まれ変わったとき、何よりもまず国民の基本的な人権の擁護と、人権思想の普及高揚が国家の責務として、国民の間から叫ばれ基本的人権を基調とした日本国憲法が制定されました。こうした背景の下に、昭和二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委員による人権擁護委員制度の始まりです。

人権は、人間が平和に生存する上で、最も大切な権利です。自分だけでなく、あなたも私もみんな人権が尊重されなければなりません。つまり人権は共存するものなのです。

お互いに入権を守って明るい社会をつくること、私達の願いです。

衛生だより

● 胃の集団検診

- 6月8日 豊協坪谷支所
 - 9日 中央公民館
 - 10日 //
 - 11日 豊協寺迫支所
- 受付 7時30分～8時30分
料金 一、二〇〇円

● 婦人検診

- 6月15日
- 9時～10時 牧水記念館
- 13時～14時 老人福祉館
- 6月16日
- 9時～10時 老人福祉館
- 13時～14時 豊協寺迫支所

● 母子相談

- 6月29日(火)
- (受付9時～10時)
- 老人福祉館

母子手帳を忘れないように!

善意のともしび

忌明け付として、つきのかたから善意がよせられました。

厚くお礼申しあげます。

- ▽ 仲深の酒井ケサさんから (今朝吉さん 83歳ご死去)
- ▽ 羽坂の清水龍太郎さんから (徳男さん 53歳ご死去)
- ▽ 羽坂の今田耕作さんから (茂光さん 19歳ご死去)
- ▽ 越表の海野通さんから (ナツさん 87歳ご死去)
- ▽ 仲深の西口芳子さんから (一郎さん 54歳ご死去)
- ▽ 坪谷の那須 雪さんから (ハツさん 81歳ご死去)
- ▽ 小野田の橋口捨雄さんから (ムツエさん 77歳ご死去)

六月十五日は

心配ごと相談日
毎月第三火曜日は心配ごと相談日と定め、老人福祉館において相談に応じておりますから、ご遠慮なくお申し出下さい。

- ▽ 6月29日 交通事故相談日
- ▽ 行政相談 毎月第三火曜日

戸籍だより

4月届分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
小川 満	良昭	福野瀬
川野 佳代	多賀男	羽坂
甲斐 由華	一男	小野田
寺原 鐘子	孝治	鶴野内
黒木 鮎	美金	市福瀬
黒木 純	金市	福瀬

6月の休日在宅至

(日向・門川地区)

当番医が変更する場合があります。テレフォンサービス
☎09825③1214で確認を!



日	診療科目	病(区)院名	住所	電話
6	外・産婦人科	寺尾医院	門川町	③ 1447
	内・小児科	佐藤医院	本町	② 3324
	小児科	児玉医院	原町	② 2530
13	外・脳神経外科	甲斐外科	山下	③ 5000
	内・外・放科	和田病院	中原	② 2045
	産婦人科	滝井医院	都町	② 2409
20	内科	大平医院	北町	② 3337
	内・外・皮・泌・婦	三股病院	美々津	⑧ 0034
	内科	今給黎医院	切島山	④ 2459
27	内・小児科	東医院	門川町	③ 2800
	外科・内科	樋口病院	門川町	③ 1036
	眼科	福原医院	南町	② 2209
	内・小・放科	吉田医院	財光寺	④ 4401

結婚おめでとう

松尾 哲	佳代子	良一	昇	迫野内
橋口 伸一郎	喜一郎	浩二	鶴野内	小野田
橋口 麻由	浩二	鶴野内		

冥福を祈ります

清水 徳男	75	羽坂
那須 嘉吉	78	寺迫
黒木 須吉	83	仲深
那須 嘉吉	83	仲深
酒井 今朝	83	仲深
河野 利市	76	八重原
橋口 佳代子	69	寺迫
今野 茂光	69	羽坂
西野 一太郎	87	越表
那須 須美	81	仲深
寺田 須美	75	坪谷
黒野 幸甚	77	坪谷
矢野 幸甚	77	坪谷
黒野 幸甚	77	坪谷
寺原 幸甚	77	坪谷
海野 幸甚	77	坪谷

